

事業コード	H16-建-継-29			区 分	国庫補助・県単独
事業名	通常砂防事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	砂防えん堤工			課 室 班 名	砂防課 砂防班 (tel) 2532
路線名等	一級雄物川水系 小桑沢			担当課長名	芳賀 正廣
箇所名	雄勝郡雄勝町秋の宮			担当者名	主幹(兼)班長 秋元 良三
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	2	施策名	災害に強い県土づくり	
	目標コード	5	施策目標名	土砂災害危険箇所整備率	

1. 事業の概要

事業期間	H11~H17(7年)	総事業費	6.3億円		国庫補助率	1/2	
事業規模	砂防えん堤2基 H=8.0m L=87.0m H=7.0m L=62.0m						
事業の立案に至る背景	<p>当溪流は雄勝郡雄勝町秋の宮に位置し、保全対象として人家23戸・町道等を抱える土石流危険溪流である。</p> <p>近年の豪雨により流域内に山腹崩壊や溪岸侵食が発生し、溪床内に大量の土砂が堆積し、今後の豪雨により土石流化する恐れが懸念されていた。このことから、砂防施設整備をもって土砂災害から住民の生命・財産を保全するものである。</p>						
事業目的	<p>【主たる目的】 土石流を砂防えん堤で捕捉し、下流域に暮らす住民の生命・財産を守る。</p> <p>【保全対象】 人家 23戸 町道 L=1,500m 公民館 1</p>						
事業費内訳	(単位:千円)						
事業内容		全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降	
	事業費	630,000	528,000	80,000	22,000	0	
	経費内訳	工事費	289,000	253,000	16,000	20,000	0
		用補費	271,000	213,000	58,000	0	0
		その他	70,000	62,000	6,000	2,000	0
	財源内訳	国庫補助	315,000	264,000	40,000	11,000	0
		県債	283,000	237,000	36,000	9,000	0
その他							
事業内容	32,000	27,000	4,000	2,000	0		
事業内容		詳細設計 用地補償 砂防えん堤工 付替道路工	砂防えん堤工 付替道路工	砂防えん堤工 付替道路工			
事業推進上の課題	特になし						
上位計画での位置付け	「あきた21総合計画」第2期実施計画において、「災害に強い県土づくり」の施策として位置づけられている。						
関連プロジェクト等	特になし						
事業を取り巻く情勢の変化	今年7月の「新潟福島・福井豪雨」や10月の「新潟県中越地震」に見られるように、土砂災害に対するハード・ソフト一体となった砂防施設整備が急務となっている。						
事業効果把握の手法及び効果	指標名	土砂災害危険箇所整備率		データ等の出典	危険箇所調査結果		
	指標の種類	成果指標 (業績指標)					
	指標式	概成箇所数 / 危険箇所数		把握の時期	平成16年 3月		
	目標値 a	24.9%					
	実績値 b	20.8%					
達成率 b/a	83.5%						

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	指摘事項
	特になし
	指摘事項への対応

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	砂防えん堤は、土石流の発生・流下を抑制する最も有効な手段である。 当溪流は地元住民から対策を要望されている。 砂防法第5条により工事の施行は都道府県が行うものと位置付けられている。	20点
緊 急 性	流域内からの土砂流出は顕著であり、堆積した土砂の土石流化が懸念されるため、早急な砂防施設整備が必要である。 「あきた21総合計画」第2基実施計画において、整備率の向上が必要な土砂災害危険箇所位置付けられている。	5点
有 効 性	砂防施設を整備することにより、土砂災害から人命・財産が守られ、安全で安心して暮らせる地域が創出される。 土石流危険溪流の整備率向上に寄与する事業であり、施策目標への貢献度は高い。	10点
効 率 性	事業の費用便益は1.90であり効率性は高い。 ・総費用の現在価値 5.66億円 ・総便益の現在価値 10.75億円 上流砂防えん堤をスリットタイプにしたことや、再生骨材を活用したことによりコスト縮減を図っている。	30点
熟 度	地元要望も強く、事業に対しても協力的である。	20点
判 定	ランク (○) 土石流危険溪流であるため、整備後の有効性は高いことから、引き続き実施すべきである。	85点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

事業を継続する。事業実施に当たっては引き続きコスト縮減に留意する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所 (継続箇所) 事業コード (H16 - 建 - 継 - 29) 箇所名 (通常砂防 小桑沢)

適用事業名 砂防事業

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	県民のニーズ	県民のニーズの変化	変化なしまたは増加している	20	20	
			若干低下している	10		
			非常に低下している	0		
			計			
緊急性	危険度	斜面、溪流等の危険度	変化なしまたは増大している	10	5	崩壊進行、地下水位上昇等 地下水位の低下、残斜面の安定性等
			若干低下している	5		
			非常に低下している	0		
			計			
有効性	災害発生時の影響	保全対象数の変化	変化なしまたは増加している	10	10	
			若干減少している(80%以上)	5		
			非常に減少している(80%未満)	0		
			計			
効率性	事業の効率性・進捗状況	費用便益分析(B/C)	2.0以上	10	5	B/C = 1.90
			1.0以上2.0未満	5		
			1.0未満	0		
	事業の進捗状況	計画どおり進捗している(100%以上)	10	5		
		概ね計画どおり進捗している(70%以上100%未満)	5			
		計画より遅れている(70%未満)	0			
	対策工法、工事に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	10	10		
		課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	5			
		課題はあるが、解決する見込みである	3			
		課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0			
コスト縮減計画	具体的なコスト縮減計画がある	10	10			
	具体的な計画はないが、検討中である	5				
計				30		
熟度	地元の協力状況	地元住民・関係自治体等に関連する課題	課題なし又は解決済みで順調な進捗が見込まれる	20	20	用地、補償物件等
			課題はほぼ解決済みであり、進捗に大きな影響はない	10		
			課題はあるが、解決する見込みである	5		
			課題解決の見込みなし又は事業が停滞している	0		
			計			
合計			100	85		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	85	
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		